

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホームの理念がややもすると形骸化になっているのではないかと懸念しています。改めて見直すこととします。	時代に沿った内容で簡潔にして、地域に根ざした理念、目標を作りたい。	職員の意見も聞きながら、今ある理念、目標を作り直したい。全部変えるのではなくもう少し短く端的に表す文言に変える工夫をしていきたい。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期の取組みを家族、職員、他職種の意見を聞きながら、今以上に充実したものにしたたい。	重度化を自然に受け入れる体制作りを目標にしたたい。重度化の多様性に対応できること。	重度化の何が大変で何が大変ではないか、又、どのような介護が求められているのかを、環境も含めて検討したい。	6ヶ月
3	35	災害対策は避難誘導訓練(昼夜想定)を実施しているが、近年のように災害が大きく被害が拡大していることを考えて、今一度ホームの安全を地域と共に考えて行きたい。	地域の協力と地域の持つ災害対策機能を把握しホームの災害対策に活かす方法を作成する。	運営推進会議を利用し、非常時の対策をマップを通して取り組みたい。	6ヶ月
4	45	入浴時間を午前中から、利用者さんの希望の時間に出来る限り近づけたい。	希望の入浴時間にする為の職員の勤務時間と業務の見直し。	利用者さんより希望時間の聞き取りやアンケートを実施したい。	6ヶ月
5	26	介護計画立案に関して、一部の職員の意見が反映されるのではなく、職員間の情報の共有と立案に参加する体制を今以上に充実させたい。	家族の思いや本人の思いに添った計画を作成する為の取組み。訪問時に家族の思いを聞き出す。	今までも家族の思いを聞き、又本人の思いも聴いてきましたが、職員全員が計画作成に取り組めるための時間を作る取組みを実施。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。